

学校编码: 10384

分类号_____密级_____

学号: 11320051300326

UDC_____

厦 門 大 学

硕 士 学 位 论 文

中国語「使字句」の日本語訳についての考察
—「使・叫・让」と「せる・させる」との対応訳を中心に
论汉语“使字句”的日语翻译
—主要论述“使・叫・让”和“せる・させる”的对应翻译

王 钰 琳

指导教师姓名: 雷 慧 英 教 授

专 业 名 称: 日 语 语 言 文 学

论文提交日期: 2 0 0 8 年 5 月

论文答辩时间: 2 0 0 8 年 月

学位授予日期: 2 0 0 8 年 月

答辩委员会主席: _____

评 阅 人: _____

200 年 月

厦门大学博硕士论文摘要库

厦门大学学位论文原创性声明

兹呈交的学位论文，是本人在导师指导下独立完成的研究成果。本人在论文写作中参考的其他个人或集体的研究成果，均在文中以明确方式标明。本人依法享有和承担由此论文产生的权利和责任。

声明人（签名）：

年 月 日

厦门大学博硕士论文摘要库

厦门大学学位论文著作权使用声明

本人完全了解厦门大学有关保留、使用学位论文的规定。厦门大学有权保留并向国家主管部门或其指定机构送交论文的纸质版和电子版，有权将学位论文用于非赢利目的的少量复制并允许论文进入学校图书馆被查阅，有权将学位论文的内容编入有关数据库进行检索，有权将学位论文的标题和摘要汇编出版。保密的学位论文在解密后适用本规定。

本学位论文属于

1、保密（ ），在 年解密后适用本授权书。

2、不保密（ ）

（请在以上相应括号内打“√”）

作者签名：

日期： 年 月 日

导师签名：

日期： 年 月 日

厦门大学博硕士论文摘要库

レジュメ

日本語の習得と日本語の研究というと、「使役文」と中日両言語の「使役文」の比較に言及しないわけがない。日本語の学習者である私は、翻訳を学んでいるうちに「使役文」を訳する際の難しさをしみじみ感じた。中国語の「使役文」が複雑多様な表現形式を持っているのはともかく、単に中国語のもっとも典型的な「使役文」と見なされる「使字句」を日本語に訳す場合もかなり熟考を要する。同じく「使・叫・让」であっても、異なったセンテンスの中で、異なったコンテキストの中で、多種の意味を持ち、日本語の訳文も多様な表現形式が現れる。

日本語の学習者、特に初心者が「使字句」を日本語に訳す場合、日本語の使役文と見なされる「せる・させる」文で対応して翻訳する向きがある。しかし、中日両言語は文法構造と使用心理など文化の文においてそれぞれ異なっているとあるがあるので、「使字句」を「せる・させる」文で対応して訳すのはよくも誤訳の原因になる。どのように訳せば「使字句」を適切に翻訳できるか、これは筆者の心を寄せる問題になっている。

本論の構成は次の通りである。

まず、第一章では中国語の「使役文」と「使字句」について考察し、「使役文」の範囲と「使字句」の構造と意味用法を明らかにした。

第二章では、「せる・させる」に関する先行研究の研究成果を参考にし、中国語の「使役文」（主に「使字句」）を「せる・させる」文との比較を通じて、両者の意味用法と使用習慣の面での異同を明らかにした。それに数多くの「使字句」とその訳文を分析し、異なった意味に用いられる「使・叫・让」の各種の訳す方法を考察する。

第三章では、さらに翻訳論、文法や使用心理などの文化の面で検討し、「使字句」を「せる・させる」文で対応して訳せる原因と対応して訳せない原因を考察する。「使・叫・让」と「せる・させる」は両方とも意味的に「使令、許

可、許容、誘発、原因使役」の意を共有するので、両方の使用に相応しいコンテキストが存在する場合、「せる・させる」で対応して翻訳するのが適切である（ほかの翻訳法の存在も可能である）。それと同時に、両者の意義と使用習慣にずれているところがあり、それに、翻訳の際に、近接する意味を持つ語句で代用し、つまり「類似代用」の翻訳方法があるので、対応して翻訳されない原因になる。

終わりに「使・叫・让」と「せる・させる」の類似点と相違点及びこれらの異同が翻訳にもたらした影響をまとめた。また、対応して翻訳できない場合の対策を提示した。両者の使用習慣に満足できるコンテキストが存在していない場合、簡単に対応して訳すことができない。その場合、「間接話法」文、「～てもらう」などの授受関係を表す文型、他動文、心理、生理感覚を表す形容詞或は動詞が述語になる文、また、目的、原因、条件などを表す助動詞、接続詞を用いて「使字句」を訳すべきである。

キーワード： 「使字句」 「せる・させる」文 対訳

摘要

学习日语的人一提到日语学习和日语研究，必然会谈到日语的“使役句”和中日两种语言中“使役句”的对比。我作为一名日语学习者，在学习翻译的过程中，深深体会到汉日语“使役句”翻译之难。汉语“使役句”具有复杂多样的表达方式暂且不说，仅就被看作汉语中最典型的“使役句”——“使字句”，其汉译日的过程就颇费斟酌。同样的“使·叫·让”，在不同的句子里，在不同的语境下，便具有多种含义。因此，译成日语的译文就出现了更多种的表达形式。日语学习者，尤其是初学者在翻译“使字句”的时候，往往倾向于以日语中的使役句“せる・させる”句来对应翻译的。

由于两种语言的语法构造及使用心理特征等文化背景的不同，这种对应翻译的处理方式往往成为误译的原因。因此，如何恰当的翻译好“使字句”成为笔者本次研究的课题。本文的研究思路大致如下：

第一章主要是考察汉语的“使役句”和“使字句”，其目的是想搞清楚“使役句”的范围及“使字句”的结构和意义用法。

第二章在借鉴前辈有关“せる・させる”的研究成果基础上，比较汉语“使役句”（主要是“使字句”）和“せる・させる”句，弄清两者之间在意义用法及使用习惯等方面的异同，并对大量的“使字句”例句及译文进行分析，考察不同意义“使·叫·让”的多种译法。即“使令、许可”意“使字句”与“せる・させる”句的对应与不对应翻译；句子暗含“诱发、原因使役”的涵义时，“使字句”与“せる・させる”句的对应与不对应翻译。

第三章从翻译理论、语法、使用心理等方面，考察“使字句”和“せる・させる”句是否可以对应翻译并阐述其原因。研究结果表明：由于“使·叫·让”和“せる・させる”都有“使令、许可、容许、表示诱发和原因”的意义，当有既适合“使·叫·让”也适合“せる・させる”使用的语境存在时，二者可以对应翻译（也不排除其它翻译方法的存在）。同时，由于二者在意义和使用习惯有不一致的地方，而且在翻译中有时可以用相近意义的语句替换，即存在“类似

替换”的翻译方法，是造成二者不对应翻译的原因。

最后一章阐述“使字句”和“せる・させる”意义用法的异同点对翻译的影响，并提出不能对应翻译时的解决方法。在“特定语义形成环境”的参照下，二者在意义和使用习惯上的不同之处，是二者不能简单对译的原因。这种情况下应考虑用“间接语法”句和“～てもらふ”等授受关系句型等来翻译。或者用他动句、表示心理、生理感觉的形容词或动词谓语句以及表现目的、原因、条件的助动词、接续词等来表达。

关键词：“使字句” “せる・させる”句； 对译

目 次

序論.....	1
1 研究目的と対象.....	1
2 先行研究と問題点.....	2
3 研究の手順.....	3
第一章 中国語における「使字句」.....	5
1.1 中国語の「使役」と「使字句」.....	5
1.1.1 「使役」の語義と使役文の分類法.....	5
1.1.2 本文における「使字句」の定義.....	6
1.2 「使字句」に関する研究.....	7
1.2.1 「使字句」の構造と意味用法.....	7
1.2.2 「使字句」内部の諸使役マークの比較.....	13
1.2.3 中国語に見られるさまざまな使役文.....	15
第二章 「使字句」の日本語訳に関する考察.....	18
2.1 日本語における「使役文」と意味用法.....	18
2.2 「使字句」の日本語訳に関する考察——「せる・させる」文との対応を中心 に.....	22
2.2.1 「せる・させる」で訳される「使字句」のグループ.....	22
2.2.2 「せる・させる」以外で訳される「使字句」のグループ.....	30
2.2.3 使役が文の重点にならないいくつかの「使字句」の文型の訳す方法...41	
第三章 「使字句」の訳文が多様ある原因.....	45
3.1 「使字句」が「せる・させる」文に訳せる原因.....	45

3.2 「使字句」が「せる・させる」文に訳せない原因.....	46
3.3 代用法の多様性と表出における制約.....	51
終わりに.....	57
用例の出所と略称.....	63
補注.....	64
参考文献.....	68
謝辞.....	71

目 录

序论.....	1
1 研究目的与对象.....	1
2 先行研究及有关疑问.....	2
3 研究顺序.....	3
 第一章 汉语中的“使字句”.....	5
1.1 汉语“使役”和“使役句”.....	5
1.1.1 “使役”的语义及使役句的分类方法.....	5
1.1.2 本论文中“使字句”的定义.....	6
1.2 “使字句”的相关研究.....	7
1.2.1 “使字句”的结构和意义用法.....	7
1.2.2 “使字句”内部各使役标志的比较.....	13
1.2.3 汉语中的各种“使字句”.....	15
 第二章 对“使字句”日语译文的考察.....	18
2.1 日语中的“使役句”和意义用法.....	18
2.2 对“使字句”日语译文的考察——主要论述和“せる・させる”句的对应翻译.....	22
2.2.1 译成“せる・させる”句的“使字句”句群.....	22
2.2.2 不以“せる・させる”句对应翻译的“使字句”句群.....	30
2.2.3 几种不是“使役”意义的“使字句”句型的翻译方法.....	41

第三章 产生多种译文的原因.....	45
3.1 “使字句”可以译成“せる・させる”句的原因分析.....	45
3.2 “使字句”不可以译成“せる・させる”句的原因分析.....	46
3.3 代用译法的多样性和表达方面的制约.....	55
结语.....	57
例句出处和简称.....	63
补注.....	64
参考文献.....	68
致谢.....	71

序 論

1 研究目的と対象

中国語と日本語は発想や構造など言語のさまざまな側面において、相違点が多く出ている。母語との相違によって、誤用が生じ、また、母語にない文法カテゴリーの存在が中国人の日本語学習と翻訳通訳を難しくする一因になっている。そのうち、使役文の一種類の「使字句」の翻訳通訳も難点の一つと言えよう。

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』日本語版によると「使役（しえき）とは、「～させる」という表現形態を指す文法上の概念である。英語では、態(voice)の一種と位置づけられる。動詞や助動詞、動詞の接尾語によって構文が導かれる。」とする。¹「漢文法では主に使、遣、令、教等が使役の助字（助動詞）として用いられる。」日本語では「助動詞の「せる、させる」を未然形に接続させる」²とする。また、使役の意味について、阪田雪子（1993）によると、使役の本来の意味は、「相手にある行為を命令または要求し、そうするように仕向ける意を表す」³とする。

しかし、実際の使用上では、中国語にも、日本語にも、非常に複雑な用法が見られる。中国語には、もっとも典型的な使役文と見なされる「使字句」が日本語の使役文とされる「せる・させる」文との間にも類似点のほかに、それぞれの意味の広がりには大幅なずれが観察される。

だが、中国人の日本語学習者は両言語の使役の相違点がはっきりわからなく、また発想的に母語の干渉を受けるために、中文日訳の場合には中国語の「使字句」をそのまま日本語の「せる・させる」文に訳すむきがあるが、訳文が妥当かどうか疑問になることが多くなる。中国語の「使・叫・让」を使役マークとする「使字句」が日本語の「せる・させる」を使役マークとする使役文とはどのような類似点と意義上のずれがあるのか、訳す場合にどのような対策で訳せば自然な訳文になれるか、また注意すべきことはなにか、筆者はこれらの研究

に非常に興味があるので、今回のテーマとして研究してみたい。また、訳文の多様化の理由についても考えてみようと思う。

2 先行研究と問題点

これまで両言語の使役構文についての研究は豊かな成果を収めた。中国には系統的に、個別的に中国語の使役構文を研究する学者が多くいるが、そのうち、「使字句」に関する研究がよく見られる。日本にも、使役文（普通に「せる・させる」文のことをさす）について議論する学者も少なくない。（その成果はそれぞれ第1章と第2章で概観する。）また、中国人の日本語学習者のために作られたテキストにも日本語の使役態を紹介するものも多い。

そういう現象から、使役文の両言語における重要性がひとつわかるであろう。そのほか、対照研究と対訳研究の面でも、有益な試みをしてきた研究者もいる。たとえば、呉世平の『使役表現の中日対照研究』において、「せる・させる」文に立脚点を置き、日本語の使役表現と中国語の使役表現を類別に対照して、両者の異同点を明らかにしようとした。また、同作者のほかの二編の論文『使役态中译日的用例分析——“使·叫·让”与日语形容词』、『文学作品翻译中的中日文化差异』においても両言語使役文の翻訳の特徴について検討した。そのほか、今富正巳の『中国語⇔日本語翻訳の要領』には中国語の「使」という字を日本語に訳す場合のいろいろな表現をまとめた。梁伝宝、高寧の『新编日汉翻译教程』では「せる・させ」文と使役の意味を含む日本語の表現を中国語に訳す場合の対策を検討した。また、顧偉の『从翻译角度分析日汉的使役表现』、李二敏の『中文祈使句的译法』、鮑海昌の『再论使役句与使役表达』なども中日使役表現の訳し方を検討したものである。

だが、手に入った資料から見れば、両言語の使役文の対照研究と対訳研究の面における研究がまだ不十分なようである。これらの対照先行研究を考察し、以下のような問題点を見出した。

第一に、中日の使役構文に対する理解が食い違う。中国語ではよく使役が「使字句」、「兼語句」、「祈示句」と混同しているが、日本語では使役構文として「せ

Degree papers are in the "[Xiamen University Electronic Theses and Dissertations Database](#)". Full texts are available in the following ways:

1. If your library is a CALIS member libraries, please log on <http://etd.calis.edu.cn/> and submit requests online, or consult the interlibrary loan department in your library.
2. For users of non-CALIS member libraries, please mail to etd@xmu.edu.cn for delivery details.

厦门大学博硕士论文摘要库